

3類型	鋳工業品及び鋳工業品の生産に係る技術	通巻番号	2 - 21 - 016
地域資源名	建築用木材	認定日	平成22年2月10日
地域	秋田県秋田市	所管省庁	農林水産省、経済産業省、国土交通省

事業名：「プレストレスト木桁タガ集成工法」による建築用木材(秋田杉間伐材)を活用した土木建設資材の開発・販売

会社名：伊藤工業株式会社

所在地：秋田県秋田市雄和平沢字舟津田78-1

連絡先：TEL：018 - 886 - 2135

事業概要(新たな活用の視点)

- ・秋田県は、杉人工林面積が全国第1位、杉素材生産量は全国2位を占め、建築用木材の原料である杉の大産地である。
- ・同社は、地域の任意研究会の活動がきっかけで、建築用木材の特徴である木材の自然再生性を生かして、土木用建築資材へ多様に活用できる「プレストレスト木桁タガ集成工法」を開発し、特許を取得した。
- ・本事業では、杉の間伐材を建築用木材として使用し、「プレストレスト木桁タガ集成工法」の技術を用いて、主としてコンクリートや鉄骨の代用になりうる土木工事向けの構造材・仮設材の開発・販路開拓を行う。



プレストレストタガ集成木桁



間伐材リサイクルのタガ集成木桁



鋼製通し横桁

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・秋田県産の杉の製材用素材価格は他県産に比べて安価である。また、プレストレスト木桁タガ集成工法を使用した木橋は、同程度の一般的なH型鋼橋に比べて工事費が安く、価格競争力がある。

市場性

- ・土木建設投資市場は公共投資の減少に伴い縮小傾向にあるが、耐用年数を迎え改修を行う橋梁に対する仮橋の需要や、民間土木工事における仮設材の市場が見込まれる。

販路

- ・土木事業者や設計事務所、仮設材料専門取扱事業者に対して販路を開拓する。
- ・当面は橋梁分野の市場を中心とするが、仮設材・構造材として民間土木の分野を開拓する。

地域資源における関係事業者との連携

- ・原材料の安定供給の観点から秋田県森林組合連合会との連携体制を構築する。また、新工法を用いる事業であることから、研究開発・評価試験等について地域の研究機関の協力を得る。